

様式 F - 7 - 1

科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）実施状況報告書（研究実施状況報告書）（平成30年度）

所属研究機関名称		大妻女子大学	機関番号	32604
研究 代表者	部局	人間関係学部		
	職	教授		
	氏名	福島 哲夫		

1. 研究種目名 基盤研究(C)(一般) 2. 課題番号 17K04447

3. 研究課題名 スーパーヴァイザー養成のためのメタ・スーパーヴィジョンに関する研究

4. 補助事業期間 平成29年度～令和元年度

5. 研究実績の概要

以下の組み合わせでメタ・スーパーヴィジョンの実践とそのプロセスおよび効果の分析、検討を進めている。
 スーパーヴァイザー(Svee)4名：20歳代の臨床心理士もしくは大学院生、スーパーヴァイザー(Svor)4名：30歳代から40歳代でSvorの経験が初めてかもしくは少ない臨床心理士。これらに対してメタSvor(50歳代の臨床心理士でSvor経験20年以上、メタSvor経験5年以上)1名。スーパーヴィジョンの対象となった事例は、医療機関や大学の心理相談室、公的機関の従業員相談室等の事例であった。
 すべての事例と組み合わせに関して、まずメタSV無しのSV数回をおこない、カウンセラー自己効力感測定の後に、2,3回のSVごとにメタSVの実施を3回繰り返す。そして再びカウンセラー自己効力感測定と振り返り用紙の記入を求めた。また、すべてのセッションを録画・録音し、さらに毎回のSVとメタSV終了直後にSV満足度尺度、SV作業同盟質問紙を実施した。
 結果としては、まずSVを受けたSveeからは、以下に代表される振り返りが得られた。「Svorが私の考えを理解しようと寄り添ってくれるようになった」「メタSV以前は、Svorの見立てや方針に沿わなくてはいけない、そしてSvorの求める正解があって、それを理解しなければいけないような気がしていたが、メタSV開始後はそれらの気持ちが薄れて自由に考え、それを自由に伝えられるようになった。」「メタSV以前は、約束しているから行くという受動的な面もあったが、最近では意識的に考えたことをもっていくようになりVorの意見を聞きたいと思うことが増えた。」。また、メタSVを受けたSvorからは「Svee理解の深まり」「Sveeに応じた介入」「介入スキルの増加」「自身の臨床の非言語的な部分の振り返り」等に大きな効果があったと報告された。

6. キーワード

スーパーヴァイザーへの介入 スーパーヴァイザーのアセスメント 介入の非言語的側面

7. 現在までの進捗状況

区分 (2) おおむね順調に進展している。
 理由
 長期間にわたる実践研究であるため、実施数が限られているのは、計画通りである。すでに貴重な知見が得られているため、おおむね順調に進展しているといえる。

2 版

8. 今後の研究の推進方策

今後は、ここまで得られた量的・質的データにさらに新たなものを加え、サンプル数を可能な限り増やした形で分析検討し、実践モデルとして定式化していきたい。それと同時に学会発表や論文発表の形で、成果を内外に公表する作業を進めていきたい。また、その際にMcNeill&StoltenbergのIDMモデル(2010)におけるヴァイジー、ヴァイザーの発達モデルとの比較検討など、できるだけ利用可能性の高い形でのモデル化を試み、次のより大規模な効果研究に備えたい。

9. 次年度使用が生じた理由と使用計画

この2年間、データ保存・分析のためのコンピューターその他物品が、以前からあったものが使えたため、その購入費として予定していた分、節約できた。しかし、次年度は購入する必要がある。

10. 研究発表（平成30年度の研究成果）

〔雑誌論文〕 計0件

〔学会発表〕 計2件（うち招待講演 0件 / うち国際学会 0件）

1. 発表者名	福島哲夫・上遠文恵・花川ゆう子
2. 発表タイトル	愛着トラウマを癒すAEDP（加速化体験力動療法）- SV・GSVを含めた、臨床ビデオを用いた事例研究(2)
3. 学会等名	日本心理臨床学会第37回大会
4. 発表年	2018年

1. 発表者名	藤田歩美・福島哲夫
2. 発表タイトル	カウンセリング中のカウンセラーの反応が反芻・省察に及ぼす影響 - 抑うつとの関連を含めて -
3. 学会等名	日本心理臨床学会第37回大会
4. 発表年	2018年

〔図書〕 計3件

1. 著者名 杉原 保史、福島 哲夫、東 育彰	4. 発行年 2019年
2. 出版社 北大路書房	5. 総ページ数 308
3. 書名 公認心理師標準テキスト 心理学的支援法	

1. 著者名 福島哲夫	4. 発行年 2018年
2. 出版社 学研メディカル秀潤社	5. 総ページ数 224
3. 書名 公認心理師国試必須センテンス	

1. 著者名 福島哲夫	4. 発行年 2019年
2. 出版社 学研メディカル秀潤社	5. 総ページ数 176
3. 書名 第1回 公認心理師試験問題解説	

1 1. 研究成果による産業財産権の出願・取得状況

計0件（うち出願0件 / うち取得0件）

1 2. 科研費を使用して開催した国際研究集会

計0件

1 3. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

-

1 4. 備考

-